

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	神学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.4 成果
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）
小項目	6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価） 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策（院）（専門）

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 進路も含めた卒業生を追跡調査する手法を策定し、実施する。	→追跡調査の実施（2013年度までに）	D

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

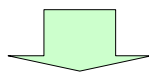
### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.4.1	(現状説明) 在学生調査および卒業生の追跡調査については具体的な検討段階に至っていない。現在、2004年度入学生からの各種データ（入学した入試制度および序列、履修コース、成績〔平均点・GPA含む〕、複数分野専攻制（MDS）・海外研修などの学修プログラム参加状況、学籍異動状況、進路など）を整備中であるが、どのように連携し活用するか、あるいはそれをどの部内委員会で検討するか、今後の課題となっている。
☆ 小項目6.4.2	(現状説明) 在学生調査および卒業生の追跡調査については具体的な検討段階には至っていない。策定したディプロマ・ポリシーを念頭におきながら、学士課程での教育成果を計ることを意図して在学生および卒業生の追跡調査を実施する必要があることは認識している。
☆ その他	

### ◎効果が上がっている事項

#### 【点検・評価（1）】効果が上がっている事項

小項目6.4.1	
☆ 小項目6.4.2	
その他	



#### 【次年度に向けた方策（1）】伸長させるための方策

小項目6.4.1	
☆ 小項目6.4.2	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項	
小項目6.4.1	
☆ 小項目6.4.2	
その他	
↓	
【次年度に向けた方策(2)】改善方策	
小項目6.4.1	
☆ 小項目6.4.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
☆ その他 (自由記述)	

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】  
 ○6.4.1, 6.4.2ともに取り組みがたいへん遅れている印象です。早急に検討を始めないと、2013年度の調査実施は困難になるのではないのでしょうか。

【学内委員】  
 ○成果の検証は難しい問題ですが、測定方法を確立され、検証されることに期待します。  
 ○自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかり易く説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。加えて、本シートを見ればある程度のことわかる必要があります。そのためにも現在はどうであるのか、要素を視野に置きながらもう少しご説明をお願いします。  
 ○いずれの小項目においても、進捗状況は不十分と思われるので、改善すべき事項を具体的に述べてください。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ 小項目6.4.1の現状説明について現行では、学生の学業成績 [GPA等] や授業出欠状況ないし学籍異動状況などのデータに基づき、必要と思われる学生に履修計画や学生生活について相談や助言をする機会を設けている(各学期始めに、教務担当教員・職員および学生担当教員・職員を中心に対応)。今後は課外活動も含めたさまざまな情報を基に、学業不振者を減らし、ディプロマ・ポリシーに沿った人材を多く輩出するに資する施策の検討を要する。

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.4.0.S1	学生の授業評価におけるシラバスの有効性に関する質問への肯定的な回答の比率
6.4.0.S2	定期試験の問題の適切性を検討する会議・委員会の有無と開催頻度
6.4.0.S3	各学部における学生の進路状況
6.4.0.S4	一括申請による教職免許状取得件数および取得者実数
6.4.0.S5	日本学術振興会特別研究員応募者の有資格者に占める割合
6.4.0.S6	各年次セメスターごとの履修単位数制限の状況
6.4.0.S7	成績評価の分布が適正な科目(平均点が70-75点)の比率
6.4.0.S8	GPA値(全学、学部別、男女別など)
6.4.0.S9	修士学位・博士学位・専門職学位の授与数
6.4.0.S10	KGPSの修士学位・専門職学位の授与数
6.4.0.S11	3年卒業の適用者数
6.4.0.S12	ジョイント・ディグリーの授与者数
6.4.0.S13	標準修業年限未満の修了者の数
6.4.0.S14	在学生のうち「この大学で人生の一時期を過ごすことが、将来にとって役立つと思う」人の比率

<個別的な指標>
